

平成30年度開設予定国立大学意見伺い一覧

1. 学部の設置 3校

区分	No	大学名	学部・学科等名	入学定員	位置	設置者	留意事項	備考
国立	1	富山大学	都市デザイン学部 地球システム科学科 都市・交通デザイン学科 材料デザイン工学科	人 40 40 60	富山県 富山市	国立大学法人 富山大学	【地球システム科学科】 特になし。 【都市・交通デザイン学科】 特になし。 【材料デザイン工学科】 特になし。	※理学部地球科学科、工学部電気電子システム工学科、知能情報工学科、機械知能システム工学科、生命工学科、環境応用工学科、材料機能工学科廃止
	2	広島大学	情報科学部 情報科学科	80	広島県 東広島市	国立大学法人 広島大学	特になし。	特になし
	3	九州大学	共創学部 共創学科	105	福岡県 福岡市	国立大学法人 九州大学	・4つのエリアを設定し、そのエリアの学問的な知識や技能を提供するため、エリア基礎科目とエリア発展科目を開設しているが、学生が設定する課題は、複数のエリアに関係することが想定されていることから、各エリアが提供する学問的な知識・技術の考え方、複数のエリアを選択することによって得られる能力、及びエリアの選択と就職先との関係について、受験生（高校生）や学生をはじめ、社会に対してわかりやすく示すこと。	特になし

2. 研究科の設置 6校

区分	No	大学院名	研究科・専攻等名	入学定員	位置	設置者	留意事項	備考
国立	1	帯広畜産大学 大学院	畜産学研究科 畜産科学専攻 (M) 畜産科学専攻 (D) 獣医学専攻 (D)	人 48 10 5	北海道 帯広市	国立大学法人 帯広畜産大学	【畜産科学専攻 (M)】 ・畜産科学専攻博士前期課程における入学者のコースの振り分け方法について、学生に対して誤解を与えないよう、学生募集時に十分周知すること。 【畜産科学専攻 (D)】 特になし。 【獣医学専攻 (D)】 特になし。	※M・D同時開設 ※畜産学研究科畜産生命科学専攻 (M)、食品科学専攻 (M)、資源環境農学専攻 (M)、畜産衛生学専攻 (M)、畜産衛生学専攻 (D) 廃止
	2	岩手大学 大学院	獣医学研究科 共同獣医学専攻 (D)	5	岩手県 盛岡市	国立大学法人 岩手大学	特になし。	※東京農工大学との共同専攻
	3	横浜国立大学 大学院	理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻 (M) 化学・生命系理工学専攻 (M) 数物・電子情報系理工学専攻 (M) 機械・材料・海洋系工学専攻 (D) 化学・生命系理工学専攻 (D) 数物・電子情報系理工学専攻 (D)	109 107 146 11 12 18	神奈川県 横浜市	国立大学法人 横浜国立大学	【機械・材料・海洋系工学専攻 (M) (D)】 特になし。 【化学・生命系理工学専攻 (M) (D)】 特になし。 【数物・電子情報系理工学専攻 (M) (D)】 特になし。	※14条特例の実施 ※M・D同時開設 ※工学府 機能発現工学専攻 (M)、システム統合工学専攻 (M)、物理情報工学専攻 (M)、機能発現工学専攻 (D)、システム統合工学専攻 (D)、物理情報工学専攻 (D) 廃止
	4	静岡大学 大学院	光医学研究科 光医学共同専攻 (D)	5	静岡県 静岡市	国立大学法人 静岡大学	特になし。	※14条特例の実施 ※浜松医科大学との共同専攻
	5	長崎大学 大学院	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻 (M)	10	長崎県 長崎市	国立大学法人 長崎大学	特になし。	特になし
	6	鹿児島大学 大学院	共同獣医学研究科 獣医学専攻 (D)	6	鹿児島県 鹿児島市	国立大学法人 鹿児島大学	特になし。	※山口大学との共同専攻

3. 研究科の専攻の設置又は課程変更 9校

区分	No	大学院名	研究科・専攻等名	入学定員	位置	設置者	留意事項	備考
国立	1	東京農工大学大学院	農学府 共同獣医学専攻 (D)	10	東京都府中市	国立大学法人東京農工大学	特になし。	※岩手大学との共同専攻
	2	東京芸術大学大学院	国際芸術創造研究科 アートプロデュース専攻 (D)	5	東京都台東区	国立大学法人東京芸術大学	・博士の学位授与に際しては、実践活動等を通じた学術的な深い見識に基づいて作成、提出される博士學位論文を中核として審査を行うべきと考えられることから、実践活動の成果報告書を博士學位論文と一括して審査の対象とするなど並列的に扱うのではなく、博士學位論文自体の内容に含めて審査対象とするなど、博士學位論文を中核とした審査基準とすること。また、博士學位論文審査の基準の説明として、実務上のプロセスも含めた詳細な説明がなされているがやや冗長であり、学内規則等における審査基準の明文化に当たっては、簡潔かつ明瞭な基準とすること。	※14条特例の実施
	3	横浜国立大学大学院	環境情報学府 人工環境専攻 (M) 自然環境専攻 (M) 情報環境専攻 (M) 人工環境専攻 (D) 自然環境専攻 (D) 情報環境専攻 (D)	75 33 65 15 6 12	神奈川県横浜市	国立大学法人横浜国立大学	<p>【人工環境専攻 (M)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「持続可能社会とFuture Earth」について、科目名称に「Future Earth」を掲げる一方で、授業計画上、Future Earthに係る内容が十分でないように見受けられるため、Future Earthの理念や趣旨に係る学修内容を充実させるとともに、本学府の設置の背景にFuture Earth構想を掲げた趣旨に照らし、本学府の全ての学生が、Future Earthの基本的な理念や趣旨に触れられるよう努めること。【3専攻共通】 <p>【自然環境専攻 (M)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「持続可能社会とFuture Earth」について、科目名称に「Future Earth」を掲げる一方で、授業計画上、Future Earthに係る内容が十分でないように見受けられるため、Future Earthの理念や趣旨に係る学修内容を充実させるとともに、本学府の設置の背景にFuture Earth構想を掲げた趣旨に照らし、本学府の全ての学生が、Future Earthの基本的な理念や趣旨に触れられるよう努めること。【3専攻共通】 ・自然環境専攻の博士前期課程の環境学術プログラムについて、入学者選抜において「法学基礎」の分野の筆記試験を課すこととされる一方で、アドミッション・ポリシーにおいては、「法学基礎」の分野に関する基礎知識が求められていることが明確でないため、アドミッション・ポリシーと入学者選抜の方法を適切に整合させること。 <p>【情報環境専攻 (M)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「持続可能社会とFuture Earth」について、科目名称に「Future Earth」を掲げる一方で、授業計画上、Future Earthに係る内容が十分でないように見受けられるため、Future Earthの理念や趣旨に係る学修内容を充実させるとともに、本学府の設置の背景にFuture Earth構想を掲げた趣旨に照らし、本学府の全ての学生が、Future Earthの基本的な理念や趣旨に触れられるよう努めること。【3専攻共通】 ・情報環境専攻の博士前期課程の数理科学プログラムの学位授与の基本方針について、「現代数学に関する知識と技能を修得し、それをデータ解析に活用することのできる力量を備えた者に「修士（理学）」を授与する。」とされているが、同プログラムで計画された授業科目では「データ解析に活用することのできる力量を備え」るために必要な授業内容が必ずしも十分ではないと考えられることから、補正計画書において説明された「現代数学に精通し、先端的なデータ解析の手法に対しても臆せず学び、理解し、運用できる力量を有した人材を育成する。」といった方針を学位授与の基本方針にも適切に反映させること。 <p>【人工環境専攻 (D)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「持続可能社会とFuture Earth」について、科目名称に「Future Earth」を掲げる一方で、授業計画上、Future Earthに係る内容が十分でないように見受けられるため、Future Earthの理念や趣旨に係る学修内容を充実させるとともに、本学府の設置の背景にFuture Earth構想を掲げた趣旨に照らし、本学府の全ての学生が、Future Earthの基本的な理念や趣旨に触れられるよう努めること。【3専攻共通】 <p>【自然環境専攻 (D)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「持続可能社会とFuture Earth」について、科目名称に「Future Earth」を掲げる一方で、授業計画上、Future Earthに係る内容が十分でないように見受けられるため、Future Earthの理念や趣旨に係る学修内容を充実させるとともに、本学府の設置の背景にFuture Earth構想を掲げた趣旨に照らし、本学府の全ての学生が、Future Earthの基本的な理念や趣旨に触れられるよう努めること。【3専攻共通】 <p>【情報環境専攻 (D)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「持続可能社会とFuture Earth」について、科目名称に「Future Earth」を掲げる一方で、授業計画上、Future Earthに係る内容が十分でないように見受けられるため、Future Earthの理念や趣旨に係る学修内容を充実させるとともに、本学府の設置の背景にFuture Earth構想を掲げた趣旨に照らし、本学府の全ての学生が、Future Earthの基本的な理念や趣旨に触れられるよう努めること。【3専攻共通】 	<p>※14条特例の実施</p> <p>※M・D同時開設</p> <p>※環境情報学府環境生命学専攻 (M)、環境システム学専攻 (M)、情報メディア環境学専攻 (M)、環境イノベーションマネジメント専攻 (M)、環境リスクマネジメント専攻 (M)、環境情報学府環境生命学専攻 (D)、環境システム学専攻 (D)、情報メディア環境学専攻 (D)、環境イノベーションマネジメント専攻 (D)、環境リスクマネジメント専攻 (D) 廃止</p>

4	山梨大学 大学院	医工農学総合教育部 統合応用生命科学専攻 (D)	10	山梨県 甲府市	国立大学法人 山梨大学	特になし。	※医工農学総合教育部人間環境工学専攻 (D)、環境社会創生工学専攻 (D)廃止
5	浜松医科大学 大学院	医学系研究科 光医工学共同専攻 (D)	3	静岡県 浜松市	国立大学法人 浜松医科大学	特になし。	※14条特例の実施 ※静岡大学との共同専攻
6	神戸大学 大学院	科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻 (D)	10	兵庫県 神戸市	国立大学法人 神戸大学	・本専攻において、実務家養成と「研究者・教育者養成」両方を行うこととなっているが、それぞれの教育・研究指導体制の考え方に違いがあるので、本専攻を設置したことによる不測の検証を行い、成果を明らかにするとともに、社会に対して理解が促進されるよう運営及び説明責任を果たすこと。 ・論文審査・最終試験の方法について、学位の質を担保するために、学位基準をより明確にした上で、専門分野に關係の深い学術領域の審査教員を増やすことや本専攻以外の学外者を含む外部審査員を積極的に活用するなど、審査体制を充実すること。 ・論文審査・最終試験におけるイノベーション・ストラテジーの質を担保するために、イノベーション・ストラテジー研究成果書の基準や具体的な例示等について、入学時に学生に対して説明を行うなどに配慮すること。	※14条特例の実施
7	高知大学 大学院	総合人間自然科学研究科 教職実践高度化専攻	15	高知県 高知市	国立大学法人 高知大学	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに教育委員会等と連携を図り、理論と実践を融合し、高度な実践力・応用力を備えた教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、教育目標と、その評価の基準・方法の明確化を図りつつ、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・学校教育運営リーダーコース及び教育実践高度化コースの名称変更に伴い、「学校運営リーダー実習」及び「教育実践高度化実習」についても当該コースの実習科目であることを明確化するため、科目名称を適切に改めること。	特になし
8	長崎大学 大学院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 (D)	5	長崎県 長崎市	国立大学法人 長崎大学	特になし。	特になし
9	北陸先端科学技術 大学院大学	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻 (M)	10	石川県 能美市	国立大学法人 北陸先端科学技術 大学院大学	特になし。	※14条特例の実施 ※金沢大学との共同専攻